

☆6 日目 (7 月 1 日) : 厚岸から静内まで



行程地図 (6 日目) \_記録 OLYMPUS TOUGH TG-6

朝起きると窓の外は雨模様。ただ、雨雲レーダーによるともうすぐ止む感じ。コンビニで買った朝飯のパンとジュースを頂いて、出発の準備を進める。一応、合羽を着ることにする。いつもだと 5 時頃には出ているのだが、6 時まで出発を遅らせた。雨が止んだので、ホテルを出たら、いきなり鹿が歩いていた。ほんとに鹿が多い町だった。



写真 221. 早朝まだ雨が残る



写真 222. 家を出て 1,800 キロを超えた  
国道 44 を尾幌で道道 142 に入って、牧草地帯を抜けて海岸線を走ったが霧が濃くて何も見えない。



写真 223. 厚岸市街地の鹿



写真 224. 道道 142 の牧草地帯

道道 142 から、釧路手前でもう 1 本海岸寄りの興津通りに移って走ったが、宅地や墓地などがあるだけのつまらない道だった。程なく道道 113 に合流して、釧路市街地に入った。釧路は、今回初めて走る大きな街。43 年前も通った街、当時を思い出しながら通過して、「道の駅 しらぬか恋問」に着いたが、ここもまだ営業前で通過。



写真 225. 釧路の市街地



写真 226. 道の駅 しらぬか恋問

国道 38 に沿って南下し、映画「ハナミズキ」(2010 年)のロケ地として有名になった根室本線尺別駅へと向かう。尺別駅は、2019 年に廃止となってしまっていて、駅名が消されていた。



写真 227. 尺別駅跡



写真 228. 廃駅説明看板

その近くの映画で主人公、新垣結衣が演じた紗枝の実家として使われた民家が、「紗枝の家」として残っている。かなり傷んでいるのでいつまで存続するか分からない感じであった。出演者の名前が壁に無造作に書かれていた。映画では、こんなに荒涼とした所というイメージではなかったが、14年の月日を変えてしまったのかもしれない。



写真 229. 紗枝の家口ケ地



写真 230. 映画出演者名



写真 231. 紗枝の家全景

国道 38 を直別から海岸を走る道道 1038 に入り、海添いを走る。昆布刈石で国道 336 に入り、海岸線をキープする。牧場と海に挟まれた道。天気はまだ曇っていてすっきりしない。



写真 232. 道道 1038



写真 233. 十勝河口橋 (国道 336)

十勝川を過ぎてから、急速に天候が回復してきた。国道 336 は、しばらく海岸線を離れ牧草地帯を抜ける。途中に「HOSPO (The Hokkaido Spaceport)」と「大樹町宇宙交流センター SORA」があるので、見学をした。何時ここから日本製シャトルが打ち上げられるのだろうか？ 暑くて苦しかった合羽をここでやっと脱げた。



写真 234. 急速に天候回復



写真 235. 黒白縞模様の飼葉の太巻き



写真 236. HOSPO 看板



写真 237. SORA の駐車場



写真 238. SORA の立体看板

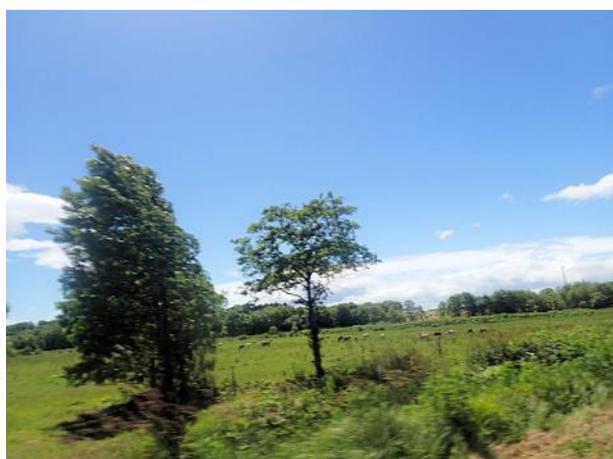


写真 239. 周りは牧場

予定では、この先の広尾で国道 236 に入り、日高山脈を越えて浦河までショートカットするはずであったが、日高山脈には、雨雲が残り雷雨注意報が出ていたので、このまま国道 336 を走り、襟裳岬周りで行くことにした。国道 336 は、

災害対策でトンネルが多い。トンネル内は、16℃しかなく寒かった。岬に出るために国道を離れて道道 34 に入ると、まただんだん霧が出てきた。



写真 240. 晴れた国道 336



写真 241. 岬が見えてきた



写真 242. トンネル内は寒い 16℃



写真 243. 曇って霧が出てきた

43 年ぶりに襟裳岬に来た。当時の記憶と全く異なる景色である。色々と施設や記念碑が増えた気がする。



写真 244. 襟裳岬灯台



写真 245. 記念碑

厚岸の道の駅の駐輪場で見かけたトランザルプ 400V がまた停まっていた。私が乗っていたトランザルプの最終カーバージョンだ。岬でライダーと話をしたら、新潟から来ていて、もう年季の入ったトランザルプはエンジントラブル続きとのこと。



写真 246. 懐かしのトランザルプと



写真 247. 変わらぬ岬の先端

昼飯は岬のお土産屋兼食堂で、海鮮味噌ラーメン 1,300 円を食べた。蟹、アワビ、昆布、海藻などが入っていて美味しかった。店では、森進一の昭和のヒット曲「襟裳岬」が何度もかかっていた。そういえば、岬にも歌碑が立っていた。



写真 248. 襟裳岬（1974 年）の歌碑（左）



写真 249. 海鮮味噌ラーメン

襟裳岬を後にして国道 336 に戻ると、天気が回復してきた。風車や灯台公園を見ながら北上。



写真 250. 発電風車



写真 251. スマイルタウン灯台公園

天候は回復したが、風が強いので、海には白波が立っている。様似漁港の近くの親子岩の前で記念写真を撮った。



写真 252. 強風で白波が立つ (1)



写真 253. 強風で白波が立つ (2)



写真 254. 親子岩の前で



写真 255. 親子岩

友達が学生時代に笛舞と言う街で昆布漁のバイトをしていたと言っていたので、どんなところが覗いてみた。家の前や空き地には昆布が干せるように小石が敷き詰められていて、海辺には漁師小屋が建っていた。



写真 256. 昆布干し場



写真 257. 笛舞地区の昆布小屋

浦河から国道 235 となり、引き続き北上した。日高馬で有名な地域なので、競走馬の牧場が多い。



写真 258. 競走馬の牧場 (1)



写真 259. 競走馬の牧場 (2)



写真 260. 牧場の前で



写真 261. 国道 235

新ひだか町静内の「ホテルローレル」に着いてチェックインをした。オーナーがバイク好きとのことで、インスタにバイクの写真をアップさせて欲しいといわれた。宿泊したライダーのバイクをアップしているようで、後日掲載されていたのを確認。



写真 262. ホテルローレル



写真 263. ホテルの部屋

狙いを付けていた宿近くの「ビヤレストラン赤ひげ」が開店するまで、町内を散歩した。競馬に関する店や会社が多かった。「赤ひげ」では、生ビールと赤ひげ定食（とんかつ定食）を食べた。美味しかったので店のセレクトは正解。



写真 264. ウイングチケット号の銅像



写真 265. ビヤレストラン赤ひげ



写真 266. 生ビールと枝豆



写真 267. 赤ひげ定食

この辺りは、43年前に来たとき、台風の水害で国道が通れず、山側の迂回路を通って通過したので、今回はその通れなかった海岸線を埋めることが出来た。